

ジェイテラス (F・R・Hタイプ) 3尺～6尺 2.5間通し桁

取付説明書 ー基本・連棟・出幅移動柱ー

- このたびは、東洋エクステリア製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
- 正しく施工、組付けをしていただくために、**施工前に必ず取付説明書をお読みください。**
- 施工終了後、取付説明書は取扱説明書といっしょに**施主様にお渡しください。**

<施工の前に>

■設置場所の確認

- 施工場所に寸法的に正しく納まるか確認してください。
- 施工場所の気象条件(風、雪など)に合った商品かどうか確認してください。
- 強風地域、特に崖上、屋上、風の通り道などの施工は避けてください。

■梱包明細書で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。

- 本テラスはジェイテラス(3尺～6尺 2.5間通し桁)です。大出幅タイプのジェイテラス(7尺～10尺/積雪地用6尺)との互換性はまったくありません。

■組立て、施工途中では

- ボルト、ネジは弊社純正品の規定本数を確実に締付け、固定してください。
- 取付説明書の順序通りに組付けてください。製品の強度など、性能を低下させる場合があります。
- アルミ製品が垂鉛、ステンレス以外の金属と接触する場合は、絶縁処理をしてください。
- 表面にキズをつけた場合、腐食の原因となりますので補修塗料で補習してください。
- 腐食のおそれのある接着剤や化学製品を使用する場合は、製品と接触しないようにしていただくか、接触する部分を完全に養生してください。

■基礎工事について

- 基礎部の埋め込み深さは製品ごとに決めてありますが、現場によって(堅牢な地盤、軟弱な地盤など)基礎部のコンクリートの量(体積)を充分配慮してください。
- 塩分を含む砂は使用を避けてください。腐食の原因となります。やむをえず使用する場合は、十分水洗いしたものを使用してください。
- コンクリート(またはモルタル)には、急結剤は使用しないでください。使用しますとアルミが腐食する原因となります。
- モルタルやコンクリートの抽出液が、工事中に製品に付着しないように注意してください。抽出液は強アルカリ性で、シミやムラなどの外観不良の原因となります。
- 製品の表面に付着したモルタルやコンクリートなどは速やかに拭き取ってください。

■製品の改造は絶対にしないでください。

■組立完成後はボルト、ネジなどにゆるみがないか確認してください。

■**梱包明細書** (FタイプとHタイプの柱梱包は共通です。それ以外の梱包には互換性がないのでご注意ください。)

1) 柱セット

名 称	員 数	
	1本入	2本入
柱	1	2
丸樋(柱にテープ止め)	1	1
柱・桁ジョイント材	1	2
柱・桁組付裏板	1	2
柱・桁ジョイント組付六角ボルト M8×16セムス(平,パネ座金付)	2	4
柱組付ネジ M5×12トラス	4	8
アンカー棒	1	2

2) 屋根材セット

名 称	員 数	
	2枚入	3枚入
屋根材	2	3

3) 出幅移動柱セット

名 称	員 数
出幅移動柱	1
梁	1
丸樋	1
柱・梁連結金具(右・左)	各1
柱・梁連結裏板	2
梁・桁連結金具	1
梁・桁連結裏板	1
梁キャップ	2
柱・梁連結金具組付六角ボルト M8×90	2
M8用袋ナット	2
M8用座金	4
M8用パネ座金	2
柱・梁・桁連結ボルト M8×14セムス(平,パネ座金付)	6
梁桁連結金具取付ネジ φ4×12トラス1種	4
梁キャップ取付ネジ φ4×12サラ1種	4
アンカー棒 φ9×150	1

4) 桁セット

名 称	員 数	
	基本2.5間	連棟2.5間
桁	1	1
補強桁	1	1
垂木掛け	1	1
屋根材受け(桁にテープ止め)	5	5
垂木掛けビート材(桁にテープ止め)	5	5
桁キャップ(右・左)	各1	—
垂木掛けキャップ(右・左)	各1	—
補強桁キャップ(右・左)	各1	—
屋根材受け取付ネジ φ4×12トラス1種	10	10
コーキング剤	1	1
連棟用垂木掛け連結金具	—	1
桁スリーブ	—	1
補強桁スリーブ	—	1
垂木掛け取付コーチスクリュー φ6×70六角	6	6
補強桁取付ネジ φ4×13ナベピアス	12	12
桁キャップ・補強桁キャップ取付ネジ φ4×12トラス1種	8	—
桁スリーブ・補強桁キャップ固定ネジ φ4×12トラス1種	—	8
アタッチメントA	1	1
アタッチメントB	1	1
アタッチメントパッキン	1	1
ドレンエルボ	1	1
ドレンエルボキャップ	1	1
ストレートジョイナー	1	1
エルボ	2	2
雨樋キャップ(A・B)	各1	予備各1
丸型サドル	2	2
サドル受け	2	2
雨樋キャップ取付ネジ φ5×12トラス3種(生地)	2	2
アタッチメント取付ネジ φ4×12トラス1種(生地)	2	2
サドル取付ネジ φ4×19ナベテクス(生地)	2	2
接着剤	1	1
取付説明書	1	—
取扱説明書(テラス)	1	—

5) 垂木セット

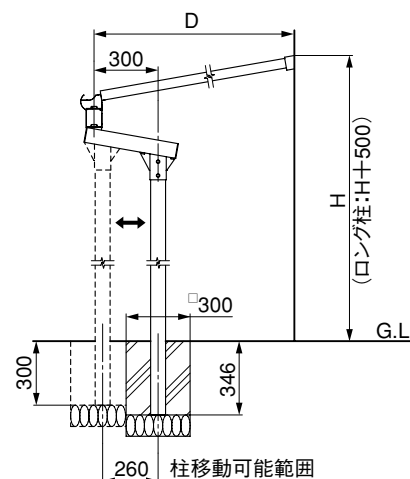
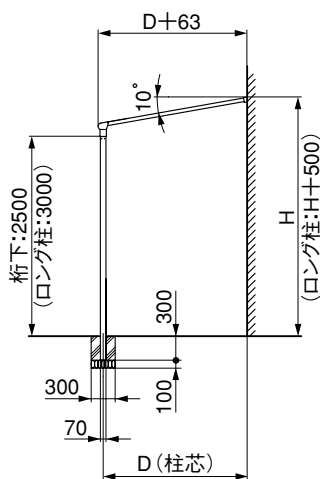
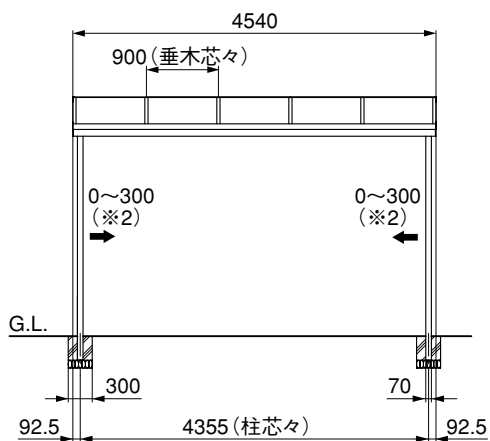
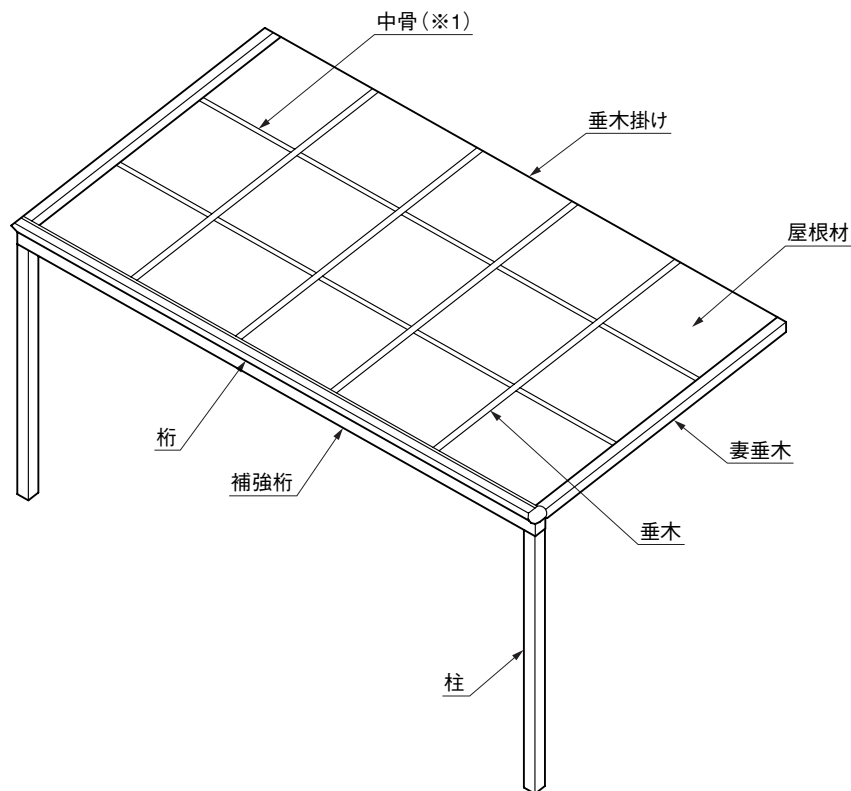
名 称	員 数			
	2本入			
	3尺	4尺	5尺	6尺
垂木	2	2	2	2
垂木カバー	2	2	2	2
中骨	2	2	4	4
垂木取付ネジ φ4×12トラス3種	8	8	8	8
Rタイプ・Fタイプ 垂木カバー取付ネジ φ4×12ナベ先割2種(ゴムワッシャー付)予備含む	16	18	22	26
Hタイプ 垂木カバー取付ネジ φ4×12ナベ先割2種(ゴムワッシャー付)予備含む	11	13	15	19

6) 妻垂木セット

名 称	員 数							
	2本入				3本入			
	3尺	4尺	5尺	6尺	3尺	4尺	5尺	6尺
垂木	—	—	—	—	1	1	1	1
妻垂木(右)(左)	各1	各1	各1	各1	各1	各1	各1	各1
垂木カバー	—	—	—	—	1	1	1	1
妻垂木カバー	2	2	2	2	2	2	2	2
中骨	1	1	2	2	2	2	4	4
垂木取付ネジ φ4×12トラス3種	8	8	8	8	12	12	12	12
Rタイプ・Fタイプ 垂木カバー取付ネジ φ4×12ナベ先割2種(ゴムワッシャー付)予備含む	16	18	22	26	23	26	32	38
Hタイプ 垂木カバー取付ネジ φ4×12ナベ先割2種(ゴムワッシャー付)予備含む	11	13	15	19	16	19	22	28

1. 各部名称および基本寸法図

1-1 Fタイプ



出幅移動柱の場合

	3R	4R	5R	6R
D (mm)	900	1200	1500	1800
H (mm)	2832	2885	2938	2991

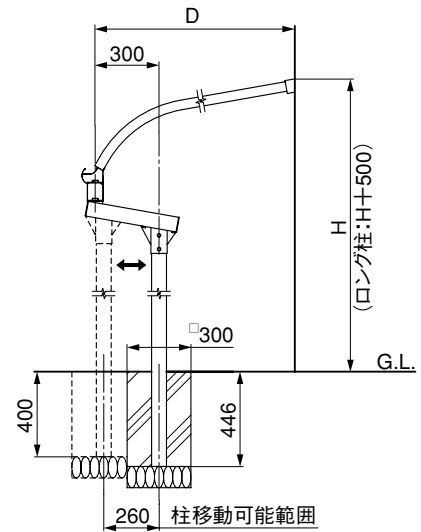
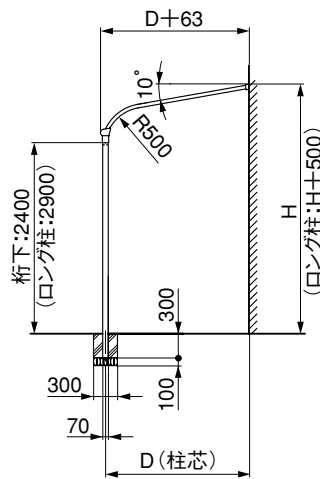
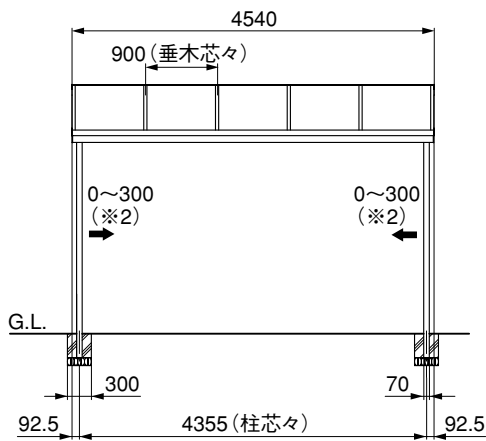
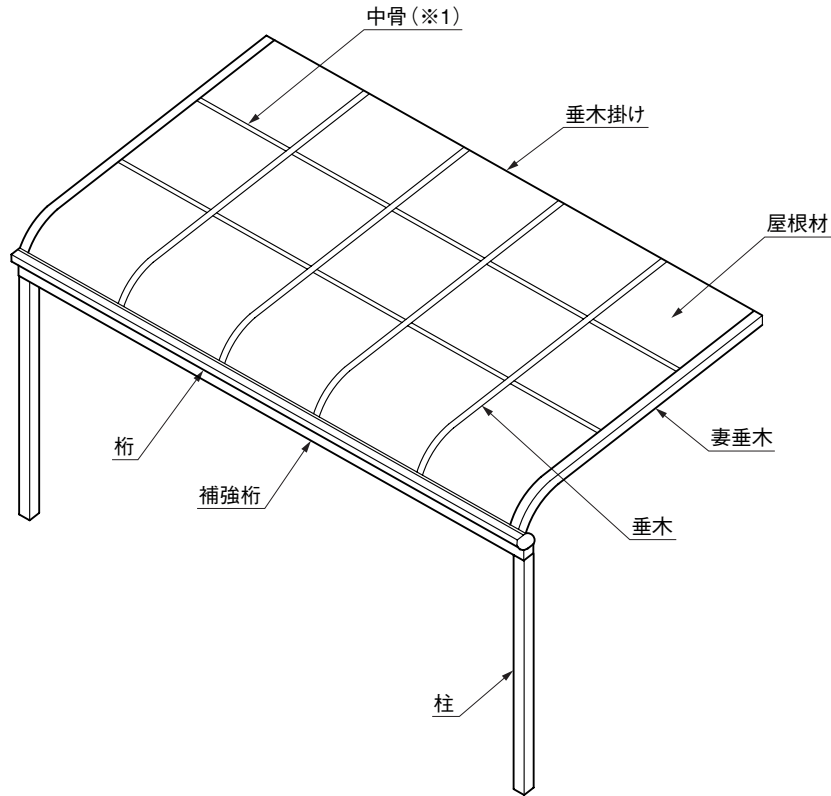
※Hは垂木掛けキャップの上端までを示します。

<注 意>

- 中骨は3尺,4尺は各垂木間に1本ずつ,5尺,6尺は2本ずつとなります。(※1)
- 柱の移動は上記内で施工してください。(※2)

1. つづき

1-2 Rタイプ



出幅移動柱の場合

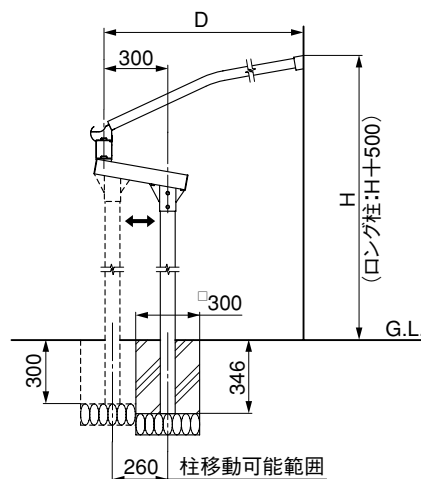
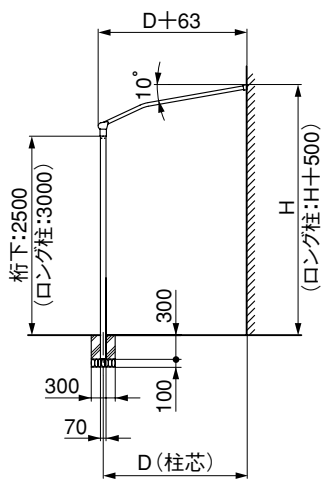
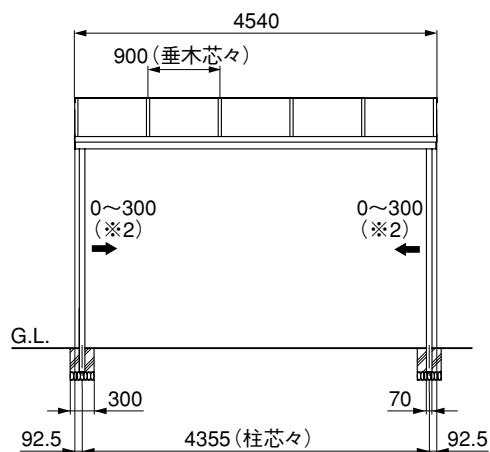
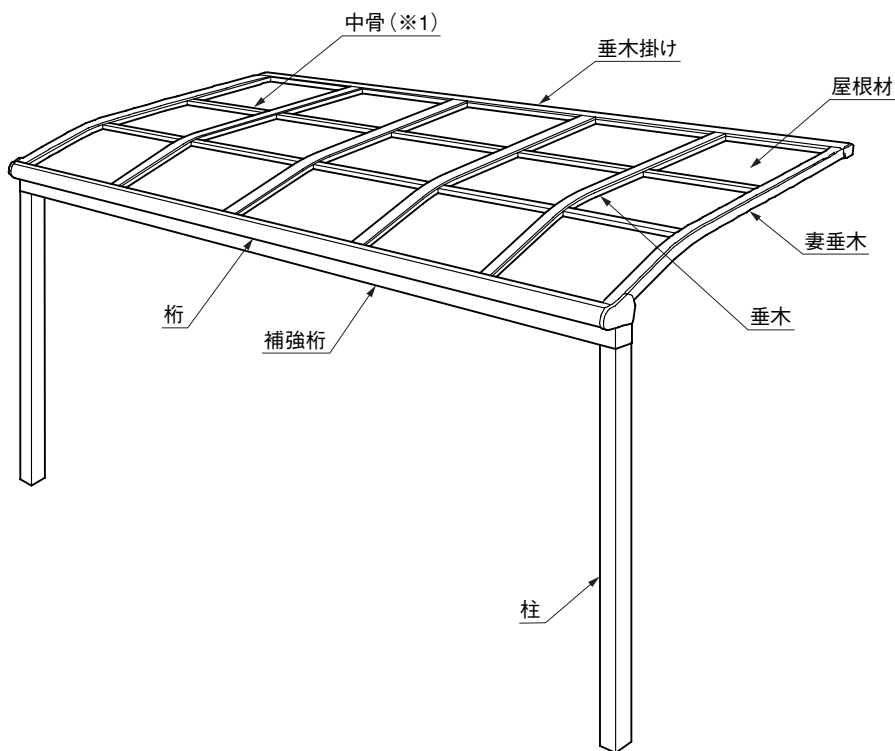
	3R	4R	5R	6R
D (mm)	900	1200	1500	1800
H (mm)	2969	3023	3076	3129

※Hは垂木掛けキャップの上端までを示します。

<注 意>

- 中骨は3尺,4尺は各垂木間に1本ずつ,5尺,6尺は2本ずつとなります。(※1)
- 柱の移動は上記内で施工してください。(※2)

1-3 Hタイプ



出幅移動柱の場合

	3尺	4尺	5尺	6尺
D (mm)	900	1200	1500	1800
H (mm)	2956	3035	3062	3141

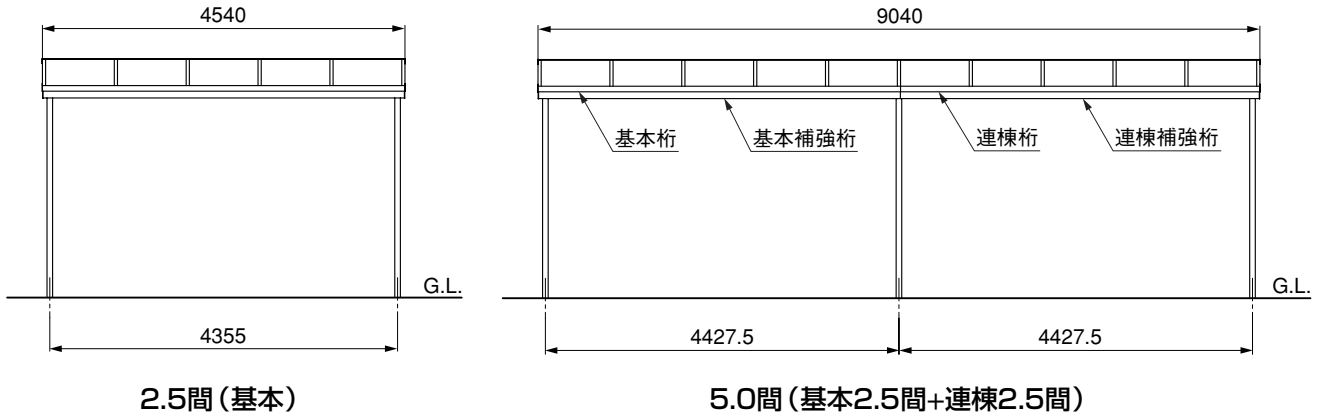
※Hは垂木掛けキャップの上端までを示します。

<注 意>

- 中骨は3尺,4尺は各垂木間に1本ずつ,5尺,6尺は2本ずつとなります。(※1)
- 柱の移動は上記内で施工してください。(※2)

1. つづき

1-4 間口基本寸法



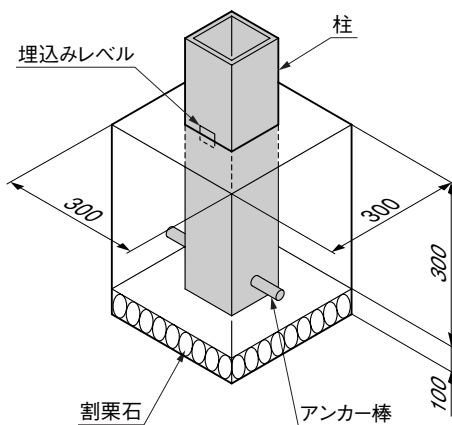
<注 意>

- 連棟仕様は間口5.0間からです。左側を基本桁とし、右側へ連棟桁を取付けてください。
- 連棟部の柱は、桁連結部に設置してください。Fタイプ、Rタイプ、Hタイプ共、桁寸法、柱施工位置は同様です。

2. 規格表

名 称		2.5間	5.0間
柱セット(ロング柱セット)	1本入	—	1
	2本入	1	1
桁セット	2.5間	1	1
連棟用桁セット	2.5間	—	1
垂木セット	2本入	2	4
妻垂木セット	2本入	1	—
	3本入	—	1
屋根材セット	2枚入	1	2
	3枚入	1	2
出幅移動柱セット	1本入	必要数を標準の柱セットと入れ換えてください。	

3. 基礎施工 (以後の組付けはFタイプで説明します。基本的な組付けはF・R・Hタイプ共通です。)



- ① コンクリート施工は骨組完了後に行ない、硬化後屋根材を組込んでください。
- ② アンカー棒は必ず施工してください。

4. 屋根材受けの取付け

屋根材受け
屋根材受け取付ネジ
φ4×12トラス1種

桁

Fタイプ屋根材受け
屋根材受け取付ネジ
φ4×12トラス1種

Fタイプ桁

Fタイプ屋根材受け納り図

Rタイプ屋根材受け
屋根材受け取付ネジ
φ4×12トラス1種

Rタイプ桁

Rタイプ屋根材受け納り図

Hタイプ屋根材受け
屋根材受け取付ネジ
φ4×12トラス1種

Hタイプ桁

Hタイプ屋根材受け納り図

① Fタイプ,Rタイプ,Hタイプの桁に屋根材受けを取付けてください。桁にはあらかじめ下孔が空いていますので、屋根材受け1個につき2本のφ4×12トラス1種ネジで固定してください。

<注 意>

- 屋根材受けは、一間につき2コ取付けてください。

5. 垂木掛けの取付け

垂木掛け

コーキング

壁面

GLよりH1の位置に取付けてください。

コーチスクリューφ6×70

<注 意>

- FタイプとRタイプ、Hタイプは施工位置が異なりますのでご注意ください。
- 施工後、垂木掛けと壁面にはコーキングを施してください。
- ロング柱使用時は、H1+500で施工してください。

	3R	4R	5R	6R
Fタイプ(H1mm)	2799	2852	2905	2958
Rタイプ(H1mm)	2936	2990	3043	3096
Hタイプ(H1mm)	2923	3002	3029	3108

6. 補強桁の取付け

F・R・Hタイプ桁

補強桁取付ネジ
φ4×13ピアスネジ

補強桁

※両端部は後程、桁キャップと共締めします。

補強桁キャップ

補強桁キャップ取付ネジ
φ4×12トラス1種

出幅移動桁

補強桁

補強桁取付ネジ
φ4×13ピアスネジ

① Fタイプ,Rタイプ,Hタイプの桁に補強桁をφ4×13ピアスネジで取付けてください。

<注 意>

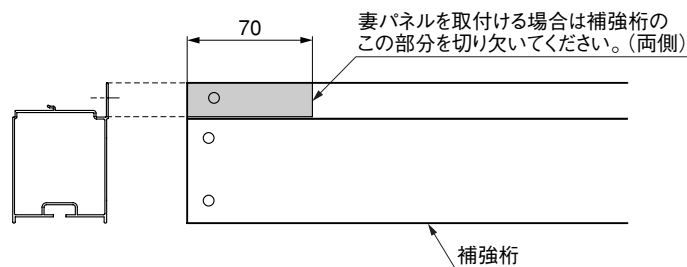
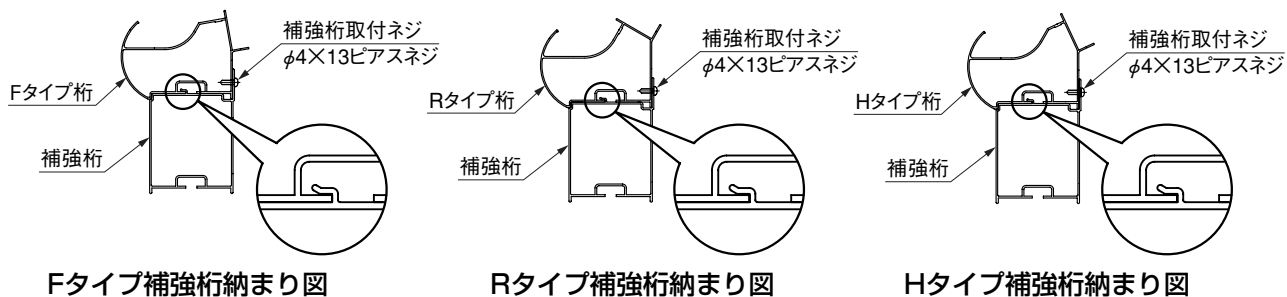
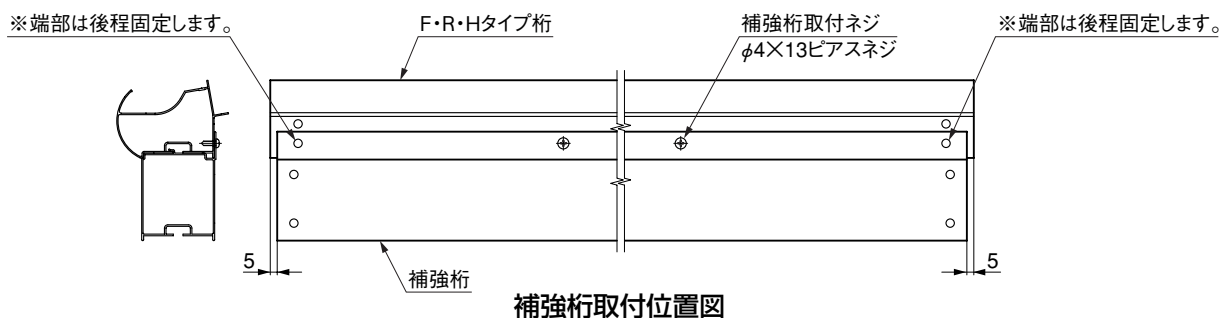
- 出幅移動桁(オプション)を取付ける場合、補強桁は出幅移動桁に、本手順同様に取付けてください。(図6-1参照)
- ② 補強桁に補強桁キャップをφ4×12トラス1種ネジで取付けてください。

<注 意>

- F・R・Hタイプ桁に補強桁取付けの孔はありません。

図6-1
(出幅移動桁を取付ける場合)

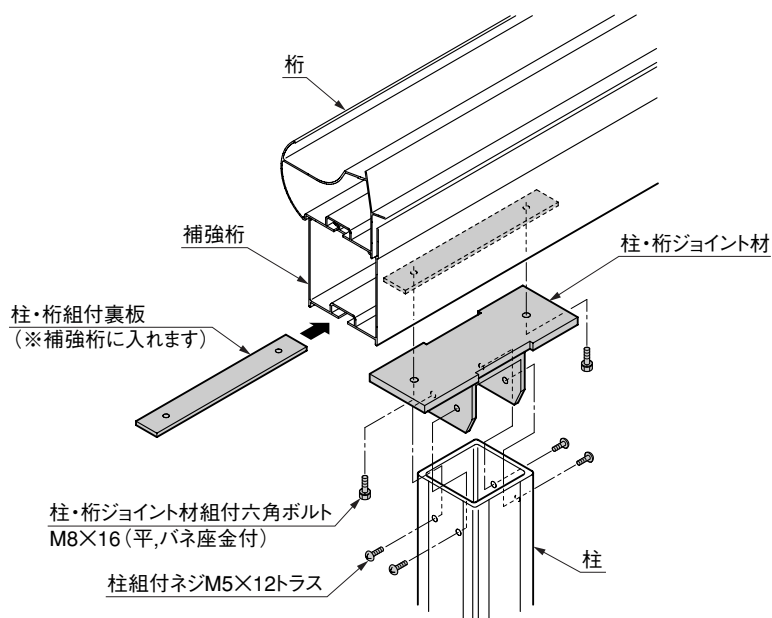
6. つづき



<注意>

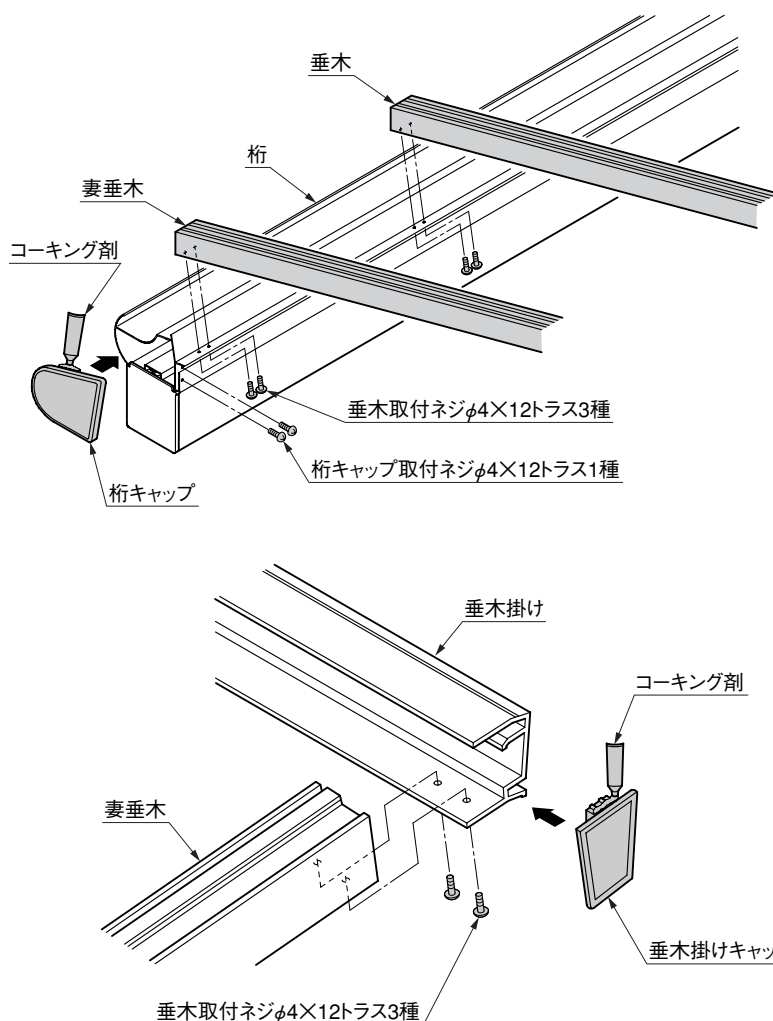
- 妻パネル(オプション)を取付ける場合は、図6-2を参照してください。

7. 柱と桁の組付け



- 1 柱と桁, 補強桁を左図のように柱・桁ジョイント材で組付けてください。

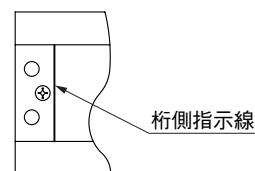
8. 妻垂木と垂木の取付け



- ① 左図のように妻垂木と垂木を、桁、垂木掛けの下側からφ4×12トラス3種ネジで固定してください。

<注 意>

- このとき、妻垂木・垂木の桁側・垂木掛け側をテープ等で仮止めしておく作業が容易です。
- 組付順序として妻垂木(左・右)を先に取付けてください。
- F・Hタイプの垂木の下側には指示線が引いてありますので、線のある方を桁側に施工してください。(下図参照)

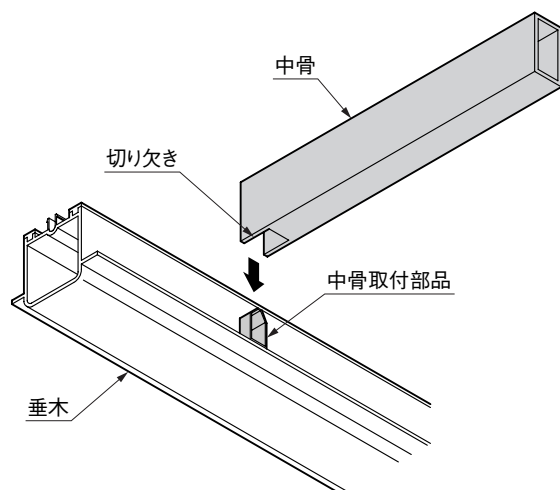


- ② 桁キャップ・垂木掛けキャップにコーキングを施し、取付けてください。

<注 意>

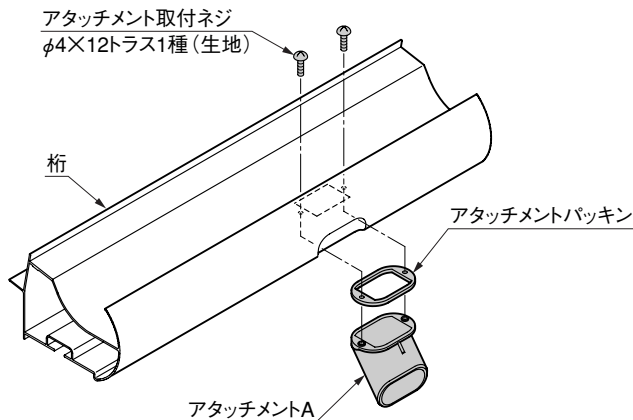
- コーキングが不十分ですと、雨漏りの原因となりますので、ご注意ください。

9. 中骨の取付け



- ① 中骨は、垂木にあらかじめ取付けてある中骨取付部品に、中骨の切り欠き部を差込むようにして取付けてください。

10. アタッチメントAの取付け

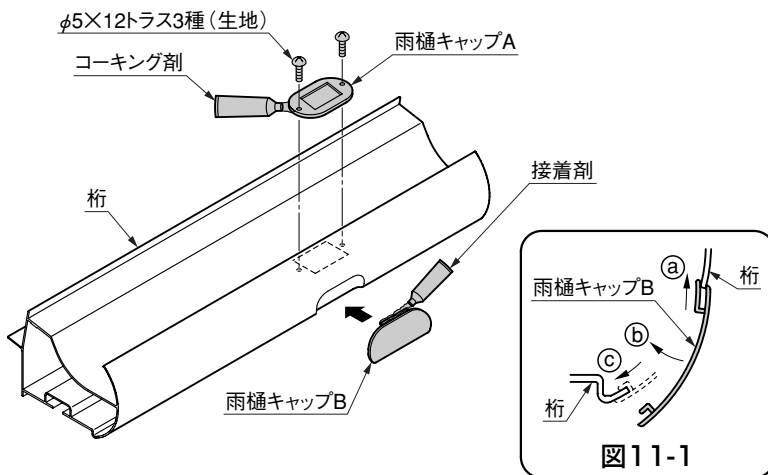


- ① アタッチメントパッキンとアタッチメントAを、φ4×12トラス1種(生地)ネジで取付けてください。

<注意>

- 屋根材を先に組付けますと、アタッチメントの取付けが困難となりますのでご注意ください。

11. 雨樋キャップの取付け



- ① 雨樋キャップAをφ5×12トラス3種(生地)ネジで取付け、周囲にコーキングを施してください。

<注意>

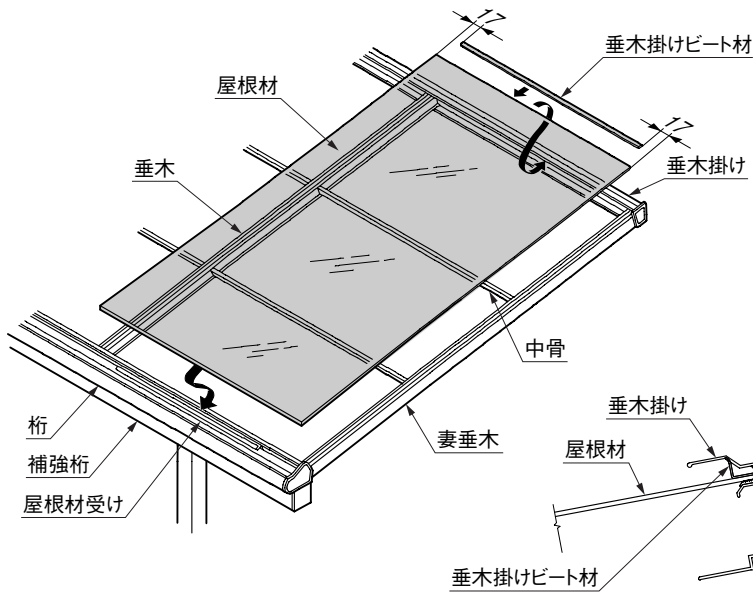
- コーキングが、不十分ですと雨漏りの原因となりますのでご注意ください。

- ② 雨樋キャップBを桁の下側からアタッチメント取付孔に、図11-1の①～③の手順で取付けてください。(長いツメが上側です。)

<注意>

- 雨樋キャップBは、はずれ防止のため上下のツメ部分に接着剤を付けてください。
- 屋根材を先に組付けますと、雨樋キャップの取付けが、困難となりますのでご注意ください。

12. 屋根材および垂木ビート材の取付け



- ① 屋根材を乗せる前に垂木掛けビート材を屋根材に取付けてください。(両端部から17mmの位置に取付けてください。)

- ② 屋根材を垂木掛けに差込んでください。

<注意>

- 桁の屋根材受けに屋根材を差込み、垂木掛けの溝に押し込みます。このとき、たたきながら延ばすようにすると取付けが容易になります。
- 屋根材のマスキングシートは必ずはがしてください。
- 必ず屋根材は左図のように垂木掛けの奥まで入れてください。雨漏れの原因となります。

13. 妻垂木カバーおよび垂木カバーの取付け

垂木カバー取付ネジ
φ4×12ナベ先割2種(ゴムワッシャー付)

垂木カバー

垂木

妻垂木

妻垂木カバー

垂木掛け

コーキング剤

垂木掛けキャップ

妻垂木カバー

垂木

垂木カバー
(垂木掛けに差込む)

丸印(刻印)

1番端部の取付孔

垂木カバー (R・Fタイプ)

垂木カバー (R・Fタイプ)

垂木カバー (R・Fタイプ)

垂木カバー (R・Fタイプ)

① 垂木カバーは左・右どちらかの妻垂木カバーより、1スパンごとに順次取付けてください。

② 垂木カバー施工後、必ず垂木カバー・妻垂木カバーと垂木掛けの飲み込み部にコーキングを施してください。

<注 意>

- 垂木カバー取付ネジは、垂木掛け側から順次取付けてください。
- Hタイプの垂木カバー上側には刻印を打っています。刻印を桁側にして施工してください。(下図参照)
- 必ず、垂木カバー・妻垂木カバーは垂木掛けに飲み込ませてください。

14. 雨樋セットの取付け

A部

アタッチメントB

ドレンエルボ

丸樋

エルボ

丸型サドル

丸樋

サドル受け

φ4×19ナベテクス

アタッチメントB

ストレートジョイナー

丸樋 (L=150mmに切断したもの)

ドレンエルボ (※柱の側面方向へふる)

図14-1
(柱の側面に取付ける場合)

① 雨樋セットを左図のように取付けてください。

<注 意>

- 丸樋は現場寸法に合わせて切断し、取付けてください。
- 各接合部は接着剤で固定してください。
- 柱の側面に取付ける場合は、A部を図14-1のようにしてください。

— 連棟 —

1. 連棟補強桁の取付け

※両端部は後程、桁キャップまたは桁スリーブと共締めします。

※端部は後程、桁キャップと共締めします。

※端部は後程、桁スリーブと共締めします。

図1a-1
(出幅移動桁を取付ける場合)

連棟用補強桁取付位置図

① Fタイプ,Rタイプ,Hタイプの連棟用桁に連棟用補強桁をφ4×13ピアスネジで取付けてください。

<注 意>

- 連棟用出幅移動桁(オプション)を取付ける場合、補強桁は出幅移動桁に本手順同様に取付けてください。(図1a-1参照)

② 連棟用補強桁に補強桁キャップ(右)をφ4×12トラス1種ネジで取付けてください。

<注 意>

- F・R・Hタイプ桁に連棟用補強桁取付けの孔はあいていません。
- 妻パネル(オプション)を取付ける場合は、「6. 補強桁の取付け」を参照してください。

2. 桁および垂木掛けの連結

コーキング

桁スリーブ

連棟用桁

連棟用補強桁

補強桁スリーブ

φ4×12トラス1種

コーキング

連棟用垂木掛け連結金具

垂木掛け

コーチスクリューφ6×70

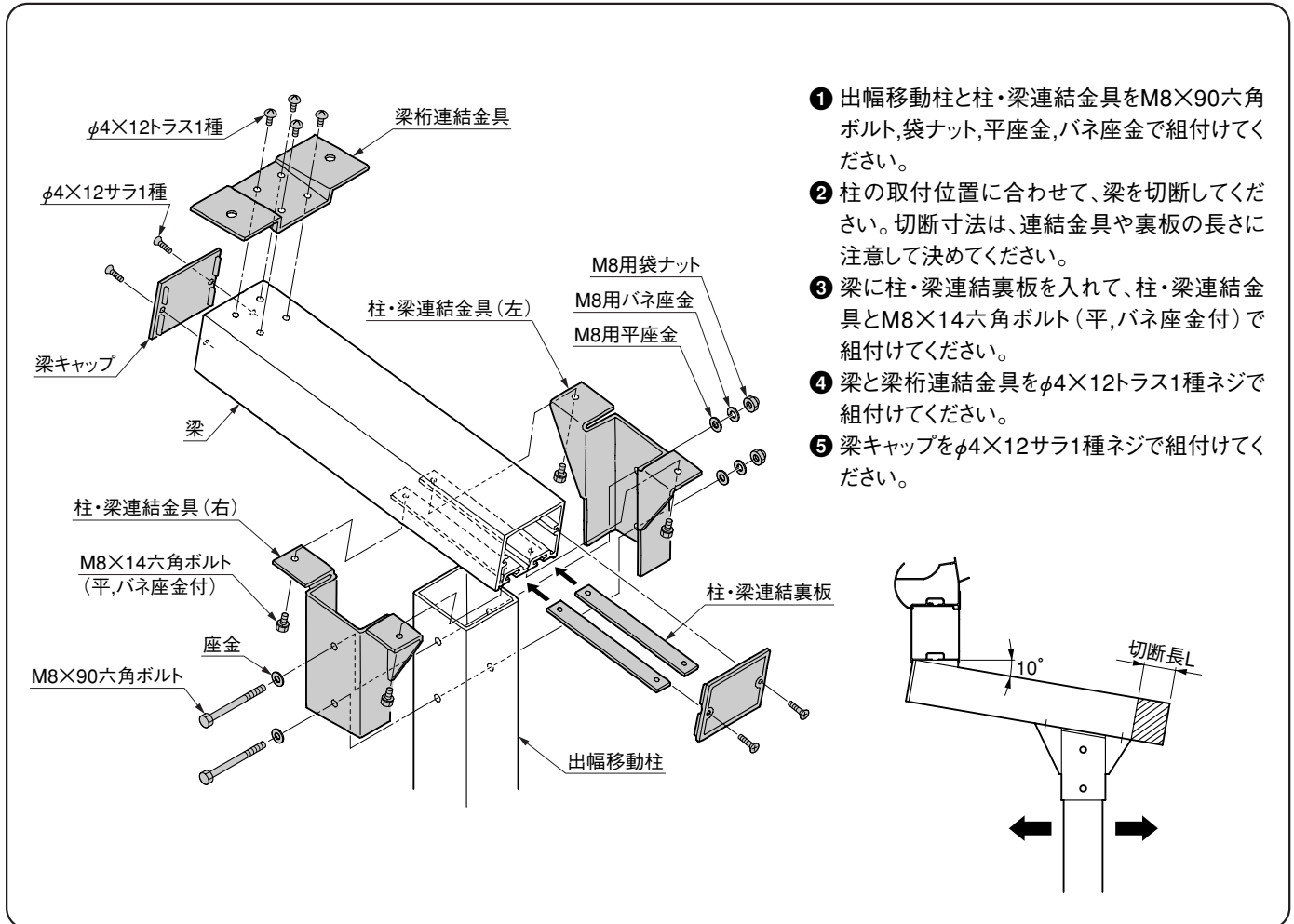
① 左図のように取付けたのち、連結部をコーキングしてください。

<注 意>

- コーキングを行わないと雨漏れの原因となります。

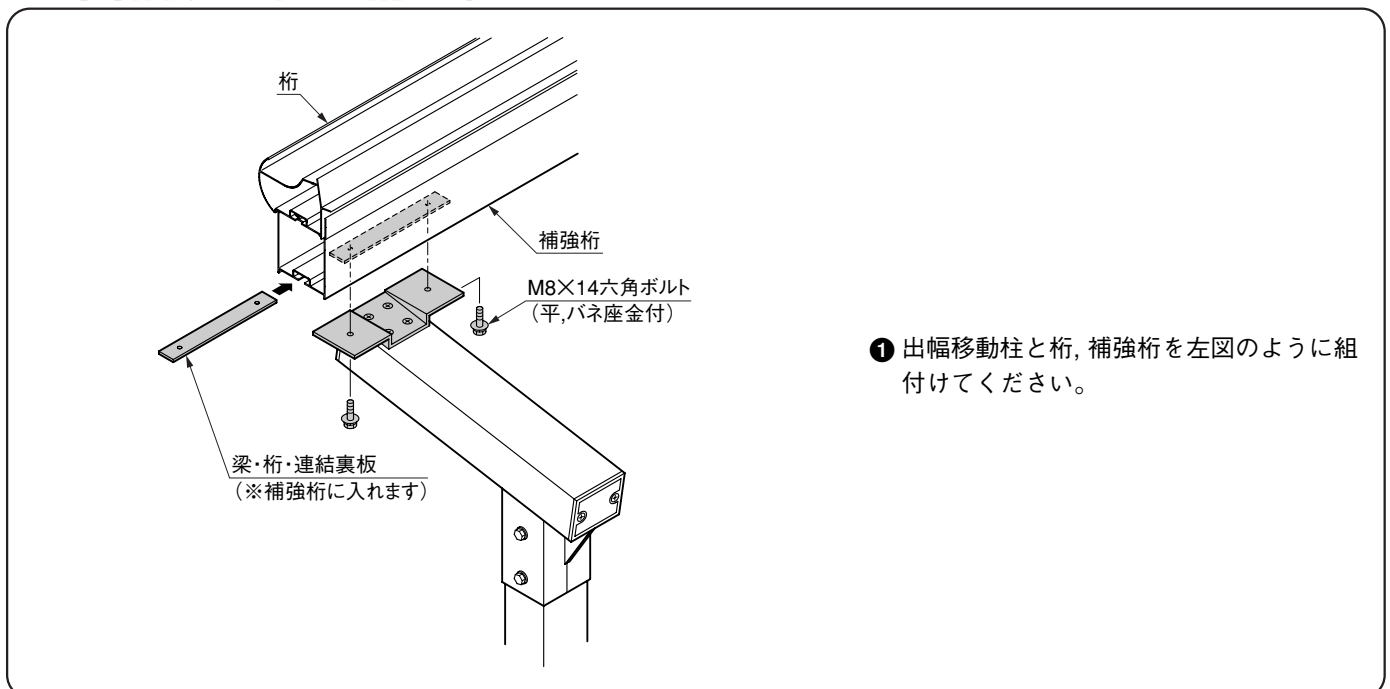
— 出幅移動桁 —

1. 柱と梁の組付け



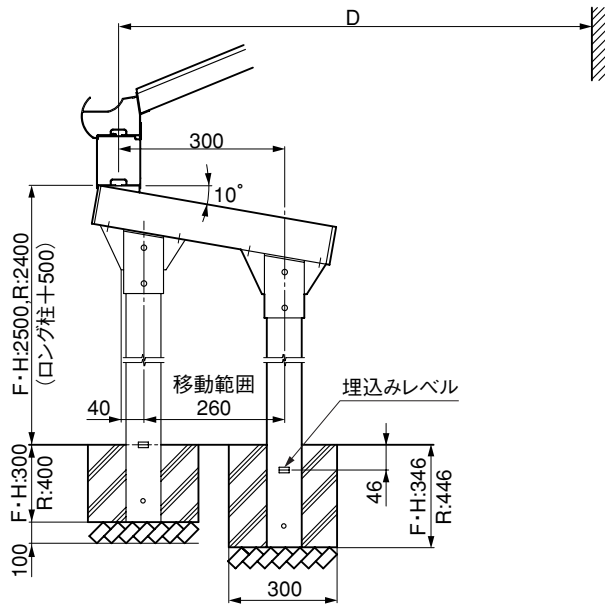
- ❶ 出幅移動柱と柱・梁連結金具をM8×90六角ボルト,袋ナット,平座金,バネ座金で組付けてください。
- ❷ 柱の取付位置に合わせて、梁を切断してください。切断寸法は、連結金具や裏板の長さに注意して決めてください。
- ❸ 梁に柱・梁連結裏板を入れて、柱・梁連結金具とM8×14六角ボルト(平,バネ座金付)で組付けてください。
- ❹ 梁と梁桁連結金具をφ4×12トラス1種ネジで組付けてください。
- ❺ 梁キャップをφ4×12サラ1種ネジで組付けてください。

2. 出幅移動柱と桁の組付け



- ❶ 出幅移動柱と桁, 補強桁を左図のように組付けてください。

3. 柱の固定

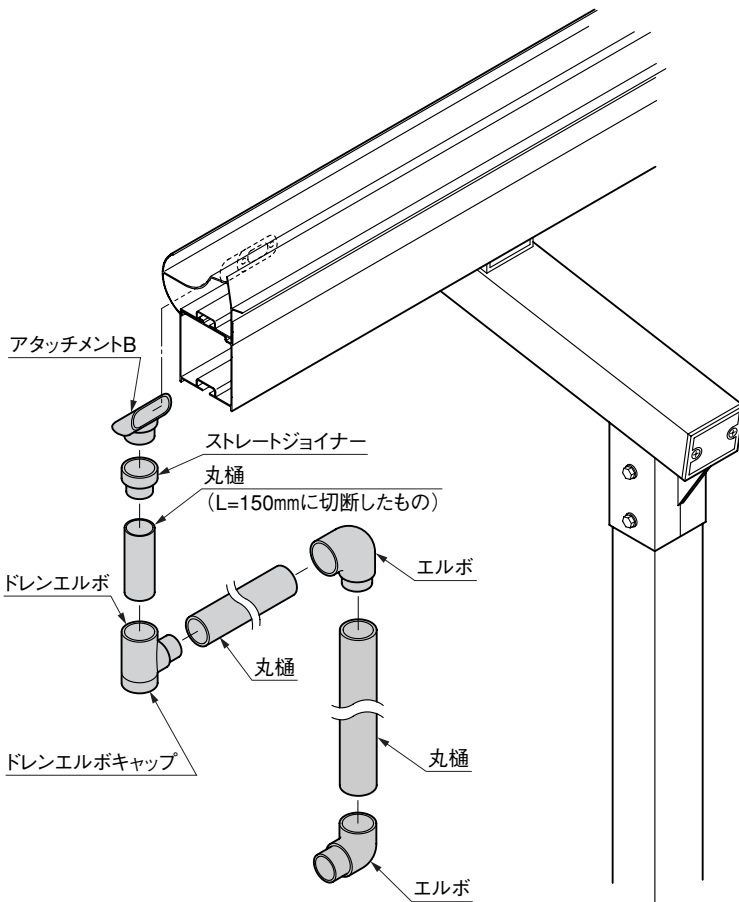


<注 意>

- 柱移動可能範囲は、基本タイプの位置Dー(40mm~300mm) 躯体側よりの位置までです。
- 柱が躯体側へ移動したときは、埋込みレベルを深くしてください。
- Rタイプは、Fタイプ・Hタイプより埋込みを100mm深くしてください。

	D
3尺	900
4尺	1200
5尺	1500
6尺	1800

4. 雨樋セットの取付け

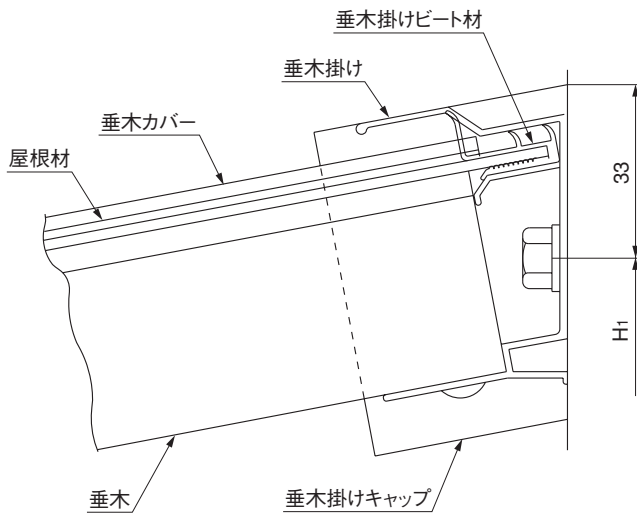


- ① 雨樋セットを左図のように取付けてください。

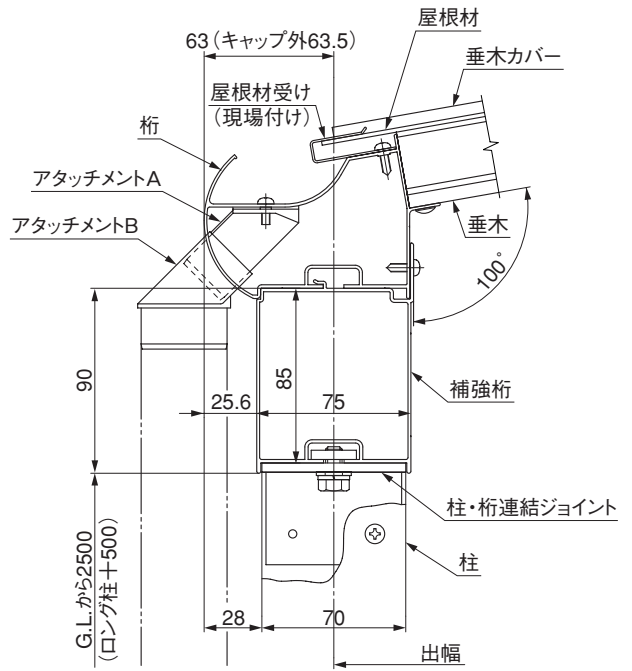
<注 意>

- 丸樋は現場寸法に合わせて切断し、取付けてください。
- ② 各接合部を接着剤で固定してください。

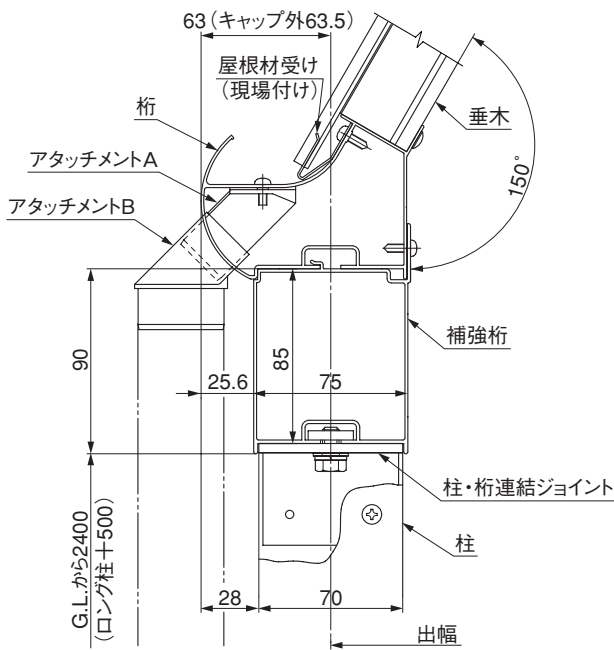
納まり図



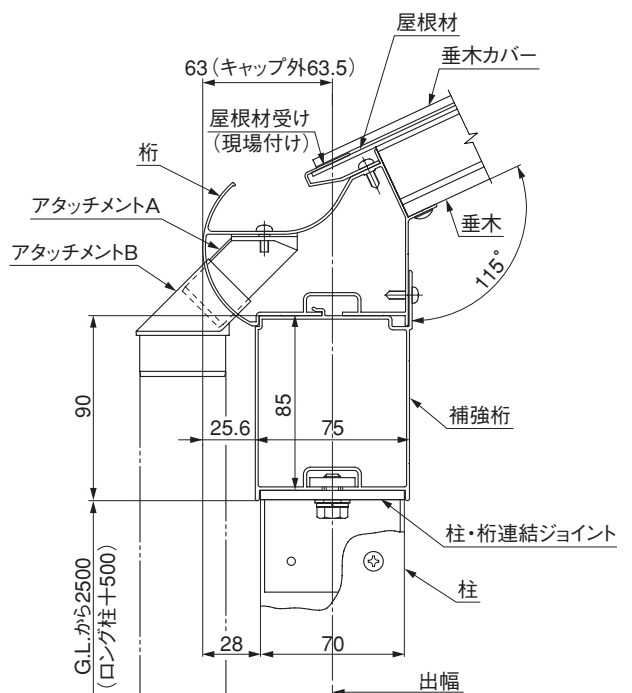
F・R・Hタイプ垂木掛け納まり図



Fタイプ桁納まり図

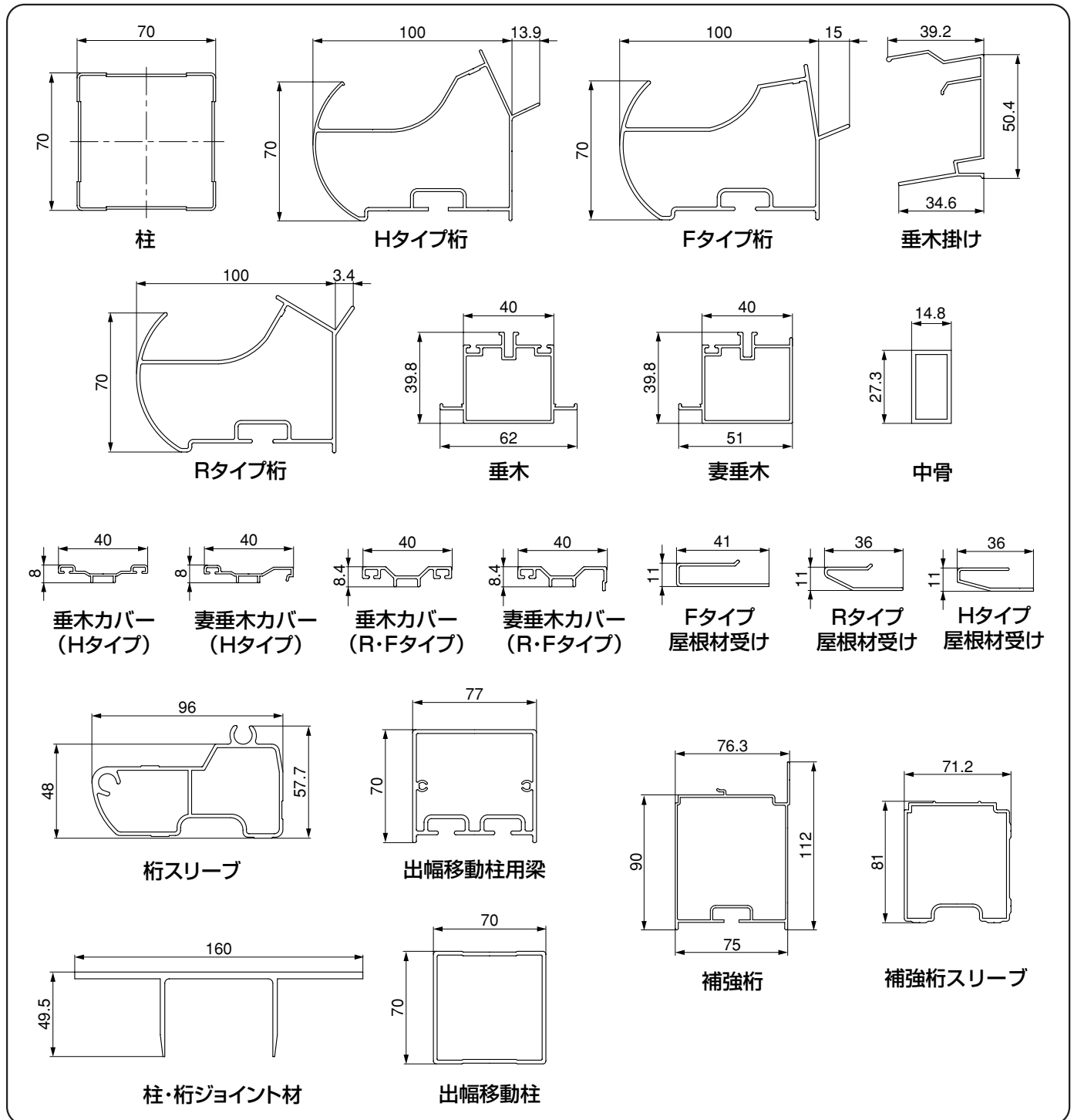


Rタイプ桁納まり図



Hタイプ桁納まり図

部材断面図



工事店様へ

- 豪雪地帯での施工は避けてください。
- 仕上げ後、本体についているモルタルを完全に拭き取ってください。
硬化後拭き取りますと表面を痛めますのでご注意ください。
- みだりに改造、変更はしないでください。
- 施工終了後、取付説明書は施主様にお渡しください。
- ご使用いただきましてありがとうございました。

施主様へ

- 積雪が20cmを超えないうちに必ず雪おろしをしてください。
- 絶対に屋根の上に乗らないでください。

取説コード

E100

200008A